

宗教法人 日本バプテスト連盟

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 1-2-4
TEL 048-883-1091(代)
FAX 048-883-1092(代)



JAPAN BAPTIST CONVENTION

1-2-4 MINAMI URAWA MINAMI-KU SAITAMA-SHI,
SAITAMA, 336-0017 JAPAN
PHONE 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831091
FAX 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831092

2022年2月15日

日本バプテスト連盟加盟諸教会・伝道所の皆さま

日本バプテスト連盟理事会

カンボジア派遣宣教師任期更新についてご報告

頌主

諸教会・伝道所の皆さまにおかれましては、国外伝道の働き、また協力伝道の働きをおぼえていただき感謝いたします。

さて、2月1日より3日に渡り開催されました2021年度第3回理事会において、カンボジア派遣宣教師 嶋田和幸宣教師、嶋田薫宣教師の任期更新について審議し、任期1年として更新することを決定いたしましたこと、ご報告いたします。

理事会決議事項

1. カンボジア派遣宣教師 嶋田和幸氏、嶋田薫氏 第3期の任期を更新する。
任期：2022年4月1日～2023年3月31日（1年間とする）
2. 現派遣形態によるカンボジアへの宣教師派遣を、2022年度末を持って終了する

これまでの任期更新は、国外伝道宣教師規程により1期3年間（第2期以降）の任期更新を行って参りました。しかし、今回、理事会は下記の理由により、1年間の任期更新とすることとし、併せ、フルサポート派遣という現在の派遣形態によるカンボジアへの宣教師派遣を、2022年度末を持って終了することを決議いたしました。

宣教師派遣の任期を1年とし、現派遣形態による派遣を2023年3月末で終了することについて

今回の決断の背景には、カンボジアの国情があります。特に宗教活動に対して、厳しい制限を課す法律が国会に上程される可能性があることが、カンボジアバプテスト連盟（CBU）の代表者との協議の中で伝えられました。カンボジアの国情はこれまでも厳しいものがありましたが、この法律が制定されると、嶋田両宣教師がCBUと協働し積み上げてきた活動や、計画されてきたプロジェクトに制限がかかる可能性があります。また、カンボジアの新型コロナウイルス感染症の感染防止政策は厳しい統制を伴うことから、新型コロナウイルス感染症の発生以来、これまでも活動や日常生活に大きな制限がかけられてきました。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今後も活動への影響が避けられない状況にあります。

このようにカンボジアの国情がより厳しくなることが予測される一方、日本バプテスト連盟は、

第 67 回定期総会で承認された機構改革により、2023 年度以降、国外に派遣している働き人に対する宣教部のサポート体制を変更してまいります。専任主事を立てない方針の中、今後も厳しい状況が想定される地に、連盟として責任を持って、現形態による宣教師の派遣継続は困難となることを理事会は確認いたしました。

このような状況を踏まえ、理事会は、任期を 1 年とすることについて嶋田両宣教師の承諾を得た上で協議し、両宣教師の 1 年間の任期更新と、2022 年度末を持って現派遣形態でのカンボジアへの宣教師派遣終了を決議するに至りました。

また、これまで宣教師の任期更新は原則的に 9 月開催の第 2 回理事会で審議してきましたが、今回、任期更新の決定が第 3 回理事会となりました。この事情は以下の通りです。

カンボジアでの厳しいコロナ感染対策規制などの影響を受ける中で 7 月に嶋田両宣教師が定期帰国されたときの疲労の状況、2 月に怪我をされた薫宣教師の肩の状況が芳しくないことを踏まえ、任期更新について時間をかけて対話する必要があると宣教部は判断しました。宣教部は理事会にこのような状況を報告し、了承を得つつ、宣教師の健康状態、カンボジアの国情やカンボジア連盟の状況を考慮し、コロナ感染症の影響下での今後の活動など宣教師と対話を重ねました。このような事情により、宣教部として時間をかけて準備を行ってきたため、任期更新の議案提出が第 3 回理事会となりました。この間、皆さまにご心配おかけしましたこと、お詫びいたしますとともに、ご理解いただきますようお願いいたします。

尚、この間、薫宣教師の怪我の治療とリハビリのため、常務理事が医師の診断に基づき、1 月未まで定期帰国期間を延長する判断を行いましたことも併せてお伝えいたします。幸い薫宣教師は生活に支障の無い程度まで回復いたしました。皆さまのお祈りに感謝いたします。両宣教師は 2 月 15 日に帰任し、カンボジアでの働きに就かれます。

2022 年度の働きについて

2022 年度からの 1 年間の任期の中で、両宣教師には、現地の方々がこれまで両宣教師と共に担ってきた活動を継続できるよう協働し、今後のカンボジアバプテスト連盟（CBU）との新しい関係の構築に向けての職務を担っていただきます。

両宣教師は 2 月 15 日にカンボジアに帰任し、第 2 期の働きを経て、22 年度の働きを担って参ります。重要な 1 年となりますので、嶋田和幸宣教師、嶋田薫宣教師の働きをおぼえ、お祈りいただきますよう心よりお願いいたします。